

令和7年度  
「第2回豊後大野市地域公共交通会議」  
「第2回豊後大野市地域公共交通活性化協議会」 議事要旨  
日 時 令和7年8月20日（水）10時～  
場 所 豊後大野市役所2階 視聴覚室

役員改選

事務局：今年は全員の方が役員改選となる。代表して自治会連合会会長の佐藤様に委嘱状を交付する。

1. 開会

事務局：20名のうち代理を含めて14名参加しているため会議は成立している。それでは会議を開会する。

2. 会長挨拶

会長：ご多用な中、本会議に出席いただきありがとうございます。本日の会議では、住民の移動に必要なバスの確保と利用促進に向けた施策について協議を行う。報告事項ではコミュニティバスやあいのりタクシーの運行状況、令和7年度の事業についても報告する。協議事項においては、AIデマンド交通のコミタクの運行区域およびサービスの拡大について協議いただく。よろしくお願ひいたします。

3. 役員選出

事務局：副会長について委員の互選により選出をする。ご意見がなければ事務局案として自治会連合会の佐藤委員にお願いしたいと思うがいかがか。

一同：異議なし

事務局：佐藤委員に副会長をお願いする。

4. 議題

会長：報告事項について事務局から説明をお願いする。

報告案件

第1号報告. コミュニティバス・あいのりタクシーの運行状況について

事務局：資料説明

会長：ご質問やご意見はないか。

一同：質問・意見なし

会長：では報告1は終わりとするが、交通事業者から現状について説明をお願いする。

濱本委員：本年の4月より3市で路線バスのゾーン制運賃の導入を行った。趣旨としては

分かりやすい・乗りやすいバスにしていこうと、運賃の見直しを行った。長いスパンでの調査が必要だが、7月までのデータでは前年比99.8%と前年とあまり変わっていない。6月、7月は前年よりも増えている。利用者がゾーン制運賃ということを認識していない可能性もあり、周知が必要と感じている。ゾーン制運賃により短い区間は運賃が高くなつた可能性もあるが、長距離では運賃が安くなつてゐる。収入比では前年比75%となっており収入面では厳しい状況である。貸切について、小学校の修学旅行需要が減少しており、近隣の複数の小学校が合同で修学旅行を実施することもあり、昨年に比べて動きが鈍くなつてゐる。昨年と比較してお出かけのイベントも少ない印象があり、貸切の売上も今のところ厳しい見通しである。

日坂委員：市のタクシー協会は4社で構成されている。コミュニティバス、あいのりタクシーの状況を見ていただいたが、タクシー業界についても同じような動向となっている。コロナによって大きく利用者が減少したが、コロナ前の水準まで回復していない。運行回数、運送収入も減少しており、需要が減少している。最低賃金や運行経費が増加しており、経営として厳しく、公共交通の維持が難しい。残された手段は運賃の改定しかない状況と考えている。大分県下16の営業区域があるが、豊後大野市の営業区域は運送収入等の面で最下位となっている。豊後大野市の場合は人口の影響もあると思う。最終的には運賃等を改定しながら維持方策を考えていかないといけないと考えている。

川底委員：先日の大雨災害で、豊肥本線については災害を受けなくて済んだものの、鹿児島県内では被害を受けている。鉄道は災害に強いようで強くない。ローカル線の収支等の情報について近々公表される予定なのでそちらを見ていただきたいが、非常に厳しい状況であるのは間違いない。豊後大野市とは昨年度包括連携協定を結んでおり、利用者増に向けて取り組みを進めていきたい。

## 第2号報告 令和7年度 豊後大野市公共交通事業について

事務局：資料説明

会長：ご質問やご意見はないか。

野中委員：自家用有償の運転手は2種免許で運行しているのか。

事務局：コミバスについては1種免許保有者もおり、大臣認定講習を受講した上で運転している。コミタクも同様と考えていたが恒常に利用者がいないため、現段階では2種免許を持っているタクシードライバーが乗用の隙間で対応している。

野中委員：小型化によって運転手の確保がしやすくなったということはあるか。

事務局：そこまでの効果は出でていない。ただし、本市のスクールバスについては限定解除をすれば乗れるようにしておおり、1種免許保有者の活用も含めて今後取り組んでいきたいと考えている。

## 協議案件

第1号議案 コミタクの運行区域・サービス拡大について

事務局：資料説明

会長：ご質問やご意見はないか。

野中委員：コミタクの課題についての認識を伺いたい。交通弱者対応として運行しているということだったが、コミバスは利用者数は減少しているものの、満足度は高いとなっているが、コミタクについては交通弱者を十分に輸送できているという認識か。

事務局：コミバスの利用者数は年々減少しているが、より身近なところまで来てほしいというニーズが高まっている。利用者の年代がより高まっている。以前はバイク利用者がバスに転換した時期があったが、最近は高齢者の多くは自家用車利用になっている。そのため、車を使えなくなるとどこにも行けなくなるという意見があり、本市のデマンドではバス停型でなくドアツードア型を適用し、車両はワゴンではなく狭い道まで入り込める軽自動車を使っている。乗合が少ないことを想定して軽自動車について、実際に昨年度の実証では乗合が2人しかいなかった。コミタクも三重エリアに拡大することで利用者が増えていくと、運転手の常時雇用も可能になるものと考えている。

野中委員：将来に向けて重要な取り組みなので、現状の利用状況については仕方ないということで承知した。軽自動車を使っていることで主婦など女性運転手の候補者が増えることも考えられると思う。雇用の柔軟性という点でもこの取り組みは非常に良いと思う。LINEアプリを使った対応について、電話予約で対応することも必要という意見も考えられるが、電話の場合は予約した、していないというトラブルもあると他の事例で聞いているので、今後高齢者のスマホ利用も増えていくことも考えられるので、予約履歴も残るこの対応も良いと思う。

事務局：電話予約を受け付けないことについて、タクシー協会との相談のうえで、電話とアプリの2つだと混乱することを防ぐためにLINEでのアプリ予約に一本化した。

田原委員：ドライバー不足が深刻であり、1種の免許の方に運行を依頼することも増えてくると認識している。大分県内に大臣認定講習を受ける機関がないことは県としても課題と考えている。いろいろな教習所にお願いしているが、一朝一夕には対応できていない。県が一括でとりまとめて手配したり、受講費用を支援したりするなども検討している。

会長：ほかにご意見はないか。

ご意見がないようなので、本日提案させていただいた内容は概ねこのまま実施させていただき、細かい部分は事務局に一任するようにしたいと考えている。承認いただける方は拍手をお願いする。

一同：拍手（承認）

会長：第1号議案は承認いただいた。

## 5. その他

会長：その他にご意見があるか。

野中委員：2種免許の方と比較して1種免許の方を特別にお勧めしているわけではないことをお伝えしたい。ドライバーが不足する中で、2種免許の方はタクシーに注力いただきたい。1種の方でも日本版ライドシェアなど対応可能な内容は1種免許の方の活用が考えられる。また、1種免許の方も体験する中で仕事にできそうと感じた場合には2種免許を取得していただく方向に移行していくことも考えられる。

田原委員：県においては大分県全体の地域公共交通計画の策定を進めている。秋から圏域単位での分科会を開催する予定であり、意見交換を実施したいと考えている。分科会では公募委員を募集する予定であり、ご協力をお願いしたい。

日坂委員：コミタクはとてもいい制度であり、タクシー業界としてもありがたい制度である。年配のドライバーの方でも徐々にタブレット操作に慣れてきており、利用者の方でも固定客が出始めている。まだ口コミで広がっていないので、市や社協経由でも口コミで広がってほしい。1種免許の方も講習を受けたうえで安全に運転するようにしていきたい。2種免許に固執せず1種免許でドライバーの裾野を広げていく中で、タクシー事業の生き残りも考えていきたい。

佐藤委員：自治会連合会の中でもコミタクの話題が出ることがある。自治会委員228人いる中で、バス、タクシー、鉄道も含めて市民の移動に欠かせないものとして、公共交通の重要性を感じている。市には様々な方策で公共交通の利便性向上を図ってもらっている。また三重総合高校や小中学校の通学手段にも対応していただきたい。バス、タクシーの運転手不足の問題もあり、交通事業者の経営は厳しいと思うが、運賃が上がるのも仕方ないとも考えていて、公共交通の維持を今後もお願いしたいと思う。

濱本委員：JR三重町駅のロータリーのバス停が新設された。運用開始は9/1を予定している。今のところ特にトラブルもないと聞いているが、バスは9m級以上の車両が入ってくることになるので、タクシー協会とも連携してトラブルがないようにしていきたい。

会長：他になければ、以上で協議会を終了する。

## 6. 閉会

事務局：今回の会議結果については議事を含めて市のHPで公表を予定している。

本日はありがとうございました。

令和7年度 第2回 豊後大野市地域公共交通会議  
豊後大野市地域公共交通活性化協議会 委員出席者名簿

(以下敬称略、順不同)

|    | 氏名    | 所属等  | 出欠 | 代理出席者  |       |
|----|-------|--|----|--------|-------|
|    |       |  |    | 職名     | 氏名    |
| 委員 | 白井 将明 | 行政機関(市)<br>豊後大野市副市長                        | ○  |        |       |
| 委員 | 佐藤 英介 | 住民代表<br>豊後大野市自治会連合会 会長                     | ○  |        |       |
| 委員 | 麻生 春彦 | 地元経済団体<br>豊後大野市商工会 副会長                     | 欠  |        |       |
| 委員 | 田原 裕之 | 大分県企画振興部 交通政策局<br>地域交通・物流対策室 室長            | ○  |        |       |
| 委員 | 高村 聰  | 行政機関(県)<br>大分県豊後大野土木事務所長                   | 代  | 企画調整課長 | 川野 秀信 |
| 委員 | 松尾 晃宏 | 行政機関(警察)<br>大分県豊後大野警察署地域交通課長               | ○  |        |       |
| 委員 | 川底 正剛 | 鉄道事業者 JR九州(株)<br>大分支社副支社長                  | ○  |        |       |
| 委員 | 望月 郁男 | 一般旅客自動車運送事業者(組織する団体)<br>(一社)大分県バス協会専務理事    | ○  |        |       |
| 委員 | 江熊 春彦 | 一般旅客自動車運送事業者(組織する団体)<br>(一社)大分県タクシー協会 専務理事 | ○  |        |       |
| 委員 | 濱本 真治 | 一般旅客自動車運送事業者<br>大野竹田バス(株)代表取締役社長           | ○  |        |       |
| 委員 | 日坂 泰弘 | 一般旅客自動車運送事業者<br>豊後大野市タクシー協会 会長             | ○  |        |       |
| 委員 | 穴南 則昭 | 運転手が組織する団体<br>大野竹田バス乗務員代表                  | 欠  |        |       |
| 委員 | 渡海 一成 | 運転手が組織する団体<br>豊後大野市タクシー協会乗務員代表             | 欠  |        |       |
| 委員 | 大井 尚司 | 学識経験者<br>大分大学経済学部門教授                       | ○  |        |       |
| 委員 | 野中 綾介 | 九州運輸局大分運輸支局<br>首席運輸企画専門官(企画調整担当)           | ○  |        |       |
| 委員 | 西山 淳  | 九州運輸局大分運輸支局<br>首席運輸企画専門官(輸送・監査担当)          | ○  |        |       |
| 委員 | 麻生 和子 | 行政機関(市) 福祉有償運送担当<br>豊後大野市社会福祉課長            | ○  |        |       |
| 委員 | 安藤 義隆 | 行政機関(市) 高齢者福祉担当<br>豊後大野市高齢者福祉課長            | ○  |        |       |
| 委員 | 高橋 欣也 | 行政機関(市) 市道管理者<br>豊後大野市建設課長                 | ○  |        |       |
| 委員 | 渡辺 竜也 | 行政機関(市) スクールバス担当<br>豊後大野市学校教育課長            | 欠  |        |       |

|     |       |                       |
|-----|-------|-----------------------|
| 事務局 | 古庄 英之 | 豊後大野市まちづくり推進課 課長      |
| 事務局 | 三代 征二 | 豊後大野市まちづくり推進課地域振興係 係長 |
| 事務局 | 太田 雅子 | 豊後大野市まちづくり推進課地域振興係 主任 |